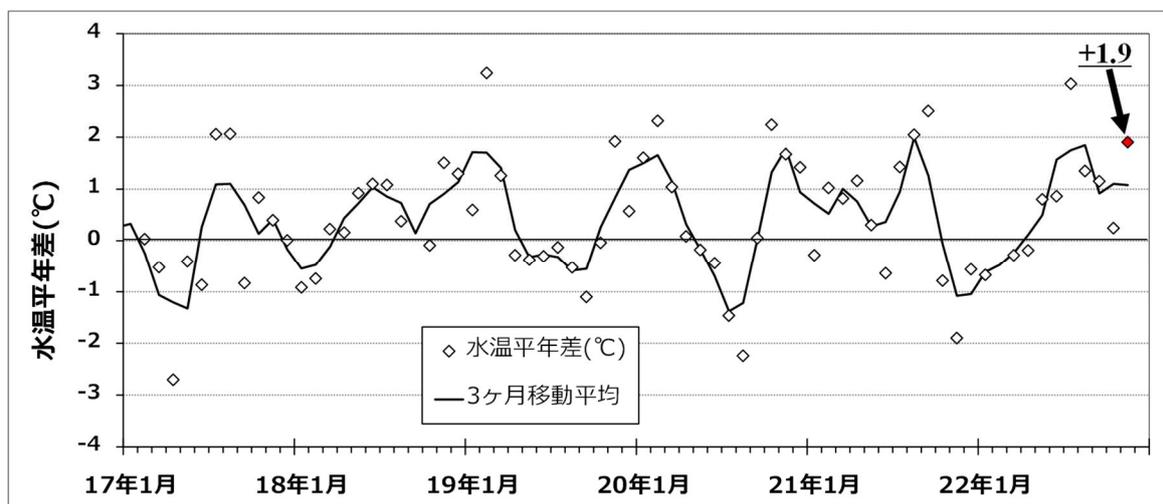


【水温の変動】

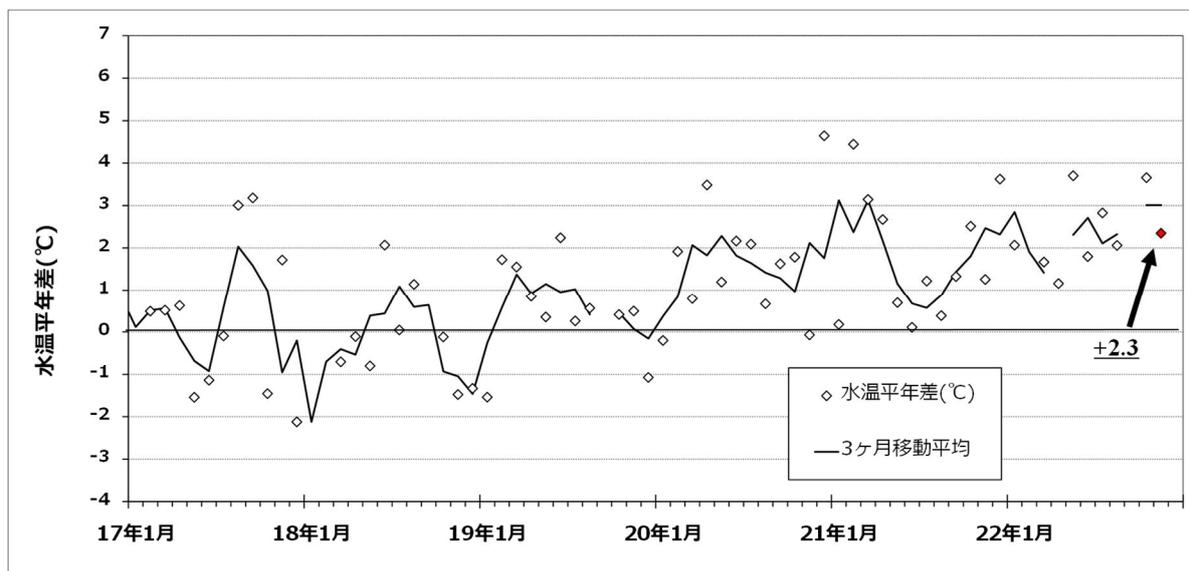
11月9、10日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+1.9°Cでやや高めとなっています。11月9日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖の北緯32度付近から大王崎沖の北緯30度付近まで南下した後、S字を描きながら御前崎に接近し、東へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっています。黒潮が遠州灘に接近しているため、渥美外海では高温傾向が続いています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

湾口部から渥美外海にかけての水温は、表層で20.8～23.9℃となっていました。クロロフィル a 濃度は、顕著なピークがみられず、全域で低めとなっています。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

